

NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2008年05月30日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2007000096"/>	整理番号 <input type="text" value="11232"/>	担当者 <input type="text" value="加根魯 和宏"/>
表 題	<input type="text" value="酵素の分離精製方法"/>		
技術分野	<input type="text" value="化学・薬品"/>	<input type="text" value="食品・バイオ"/>	<input type="text"/>
適用製品	<input type="text" value="天然物由来の酵素、遺伝子組み換えにより発現させた酵素の分離精製"/>		
目 的	<input type="text" value="カラムクロマトグラフィーで吸着、変性あるいは失活してしまう酵素の分離精製に向流クロマトグラフィーを導入することにより、酵素活性を維持したまま高純度で調製できる技術を提供する。"/>		
技術概要	<input type="text" value="本発明は、小型交軸型向流クロマトグラフ装置(特開2006-64533)を用いて水性二相溶媒により酵素の分離精製を行う方法である。市販リボヌクレアーゼ(RNase)試料に含まれる共存物質を分離し、活性を損なうことなくRNaseを短時間に高純度に精製することができた。また、大腸菌で発現したヒラタケのRNase Po1の分離精製を検討した結果、分子量近似の共存物質を分離し、Recombinant RNase Po1を高純度に精製することができた。本技術は一度に比較的多量の試料を負荷することができるため、短時間での分取レベルの精製が可能であり、水性二相溶媒の構成成分であるポリエチレングリコール1000やリン酸カリウム塩は、透析等により容易に除去することができる。"/>		

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp